

みずほCustomer Desk Report 2018/03/29 号 (As of 2018/03/28)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

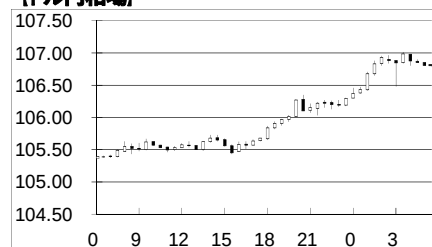
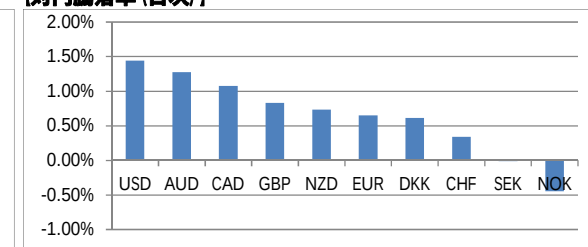
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	105.51
TKY 9:00AM	105.47	1.2408	130.85	1.4176	0.7686
SYD-NY High	107.01	1.2421	131.71	1.4200	0.7702
SYD-NY Low	105.34	1.2300	130.59	1.4070	0.7654
NY 5:00 PM	106.85	1.2310	131.48	1.4076	0.7664
NY DOW	23,848.42	▲ 9.29	日本2年債	-0.1500	0.00bp
NASDAQ	6,949.23	▲ 59.58	日本10年債	0.0300	0.00bp
S&P	2,605.00	▲ 7.62	米国2年債	2.2842	1.61bp
日経平均	21,031.31	▲ 286.01	米国5年債	2.5948	2.52bp
TOPIX	1,699.56	▲ 17.57	米国10年債	2.7816	0.72bp
シゴ日経先物	21,270	530.00	独10年債	0.5005	0.00bp
ロンドンFT	7,044.74	44.60	英10年債	1.3655	▲ 5.20bp
DAX	11,940.71	▲ 30.12	豪10年債	2.5895	▲ 7.00bp
ハンセン指数	30,022.53	▲ 768.30	USDJPY 1M Vol	7.90	▲ 0.00%
上海総合	3,122.29	▲ 44.36	USDJPY 3M Vol	8.30	▲ 0.05%
NY金	1,330.00	▲ 17.90	USDJPY 6M Vol	8.55	▲ 0.05%
WTI	64.38	▲ 0.87	USDJPY 1M 25RR	-0.86	Yen Call Over
CRB指数	194.31	▲ 1.26	EURJPY 3M Vol	8.73	▲ 0.01%
ドルインデックス	90.07	0.74	EURJPY 6M Vol	8.95	▲ 0.04%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月28日	21:30	米 GDP確報値 (年率/前期比)	4Q 2.9%	2.7%
	21:30	個人消費	4Q 4.0%	3.8%
	21:30	コアPCE(前期比)	4Q 1.9%	1.9%
3月29日	01:00	米 ボスチック・アトランタ連銀総裁「FRBは景気に中立的な金利水準に戻すべき」		

【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月29日	17:30	英 GDP確報値 (前期比/前年比)	4Q 0.4%/1.4%	0.4%/1.4%
	21:00	PCEコアデフレーター (前年比/前月比)	2月 1.6%/0.2%	1.5%/0.3%
	21:30	個人所得/個人支出 (前月比)	2月 0.4%/0.2%	0.4%/0.2%
	21:30	新規失業保険申請件数	- 230k	229k
	22:45	米 シカゴ購買部協会景気指数	3月 62.0	61.9
	23:00	米 ミシガン大消費者マインド確報値	3月 102.0	102.0
3月30日	02:00	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁講演	-	-

【ドル円相場】

【対円騰落率 (日次)】

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.50-107.50	1.2250-1.2350	130.80-132.00

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場のドル/円相場は、堅調な展開。北朝鮮を巡る地政学リスクの緩和に加え、米第4四半期GDP等、発表された米経済指標が市場予想を上回ったことで、ドル買い優勢となり107.01円まで上昇し、106円台後半でクローズ。本日のドル/円相場は、底堅い展開を予想する。月末を控えたドル買い需要に加え、新年度入り後の本邦機関投資家による外国証券投資への期待を背景にドルは底堅く推移しそうだ。また、投機筋のドルショートポジションの巻き戻しが入りやすいこともドルの下値をサポートしそうだ。

東京	早朝に105.34を示現したドル円は、東京時間105.47レベルでオープン。朝方、北朝鮮・金委員長が25日～28日にかけて訪中していたことが明らかとなり、更に習主席との会談で同・金委員長が「朝鮮半島の非核化は達成可能」と発言したことも併せて報じられると、北朝鮮リスクの後退からドル円は105円台半ばまでの底堅い推移となった。午後にかけて押し戻される場面も見られたが、全般的にドル買い地合いとなるとドル円も再度上昇。東京高値105.73をつけた後、105.68レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、105.68レベルでオープン。本邦において過去最大となる2018年度予算案が成立したことや、本邦勢の対外投資700-観測等を背景に106.03まで上昇し、106.02レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.2396レベルでオープン。特段の材料無い中、小動きに終始し、1.2405レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	106.02レベルでNYオープン。朝方発表の米第4四半期・GDP(確報値)は、2014年第4四半期以来の高い伸びとなった個人消費、設備投資、在庫投資などの上方改訂が影響し、前期比年率+2.9%と大幅に上方改訂され、ドル円は106.35まで上昇。月末需要に支えられ、ドル高地合いが進行するなか、NY時間午後には日系メディアが北朝鮮関係者の情報として「北朝鮮の金正恩政権が最近朝鮮労働党幹部らに「6月初めにも日朝首脳会談の開催がありうる」との説明を始めた」と報じたことを受け、日本株先物上昇と共に、クロス円、ドル円は上昇幅を拡大。先週レンジとなった106.60-65レベルを上抜けると、ショートカバーが強まり、106.70レベルのストップを巻き込みながら、高値は107.01と今月13日以来約2週間ぶりとなる107円台を示現。しかし、すぐに106円台に反落し、終盤は106.80-90の狭いレンジでの小動きに終始し、106.85レベルでNYクローズ。一方、1.2405レベルでNYオープンしたユーロドルは、良好な米指標や月末に伴うドル需要の高まりに前日の安値1.2372を下抜け、1.2335まで下落。一旦は1.2360まで回復するも、米金利上昇を背景に再び1.2300まで下落し、1.2310レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 佐藤・森谷